

議会だより

せら



■今月の主な記事

- **学校施設整備費を補正** ...2~3
- **決算審査・陳情・請願すべて採択** ...4~5
- **委員会は今・第3回臨時会**6~7
- **一般質問14人が登壇**8~15
- **元気な人紹介**16

待ってた うんどう会
地域の宝に拍手~!

No.19 平成21年11月13日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

8億円 11対3で 可決 000万円 全員賛成で 可決



にぎわった「フルーツ王国夢まつり」

(報告) 株式会社 セラアグリパーク 第7期営業報告及 び第8期予算

法の定めによる報告に、「多くの質疑は必要ないのでは」といった声も聞かれる。一方でセラアグリパークの施設は町が整備してお

H21年第3回定例会は、9月7日から25日までの会期で行った。今定例会では、H20年度決算認定(一般会計、特別会計、企業会計の合計10件は、決算審査特別委員会へ付託)など、全30件が提出された。また会期中に大型連休があるなど、厳しい日程のなか、「安全・安心の町づくり」と「均衡ある町づくり」を目指して論戦の末、全てを原案どおり可決した。一方では、克服すべき課題も見えた定例会となった。また一般質問は7日〜8日にかけて、14人の議員が31項目にわたって、政策と執行方針を質した。(質問と答弁は8頁〜15頁)

り、資本金の51%は町が出資している。加えて「観光の町・世羅」の基幹施設でもある。さらに原料のブドウ生産には、農業振興の一翼として、補助金を出して推進している。こうした側面から見れば、セラアグリパークの早期の安定経営は

町の財政ひいては町勢への影響が大きいだけに質疑が相次いだ。

生活関連の条例 改正

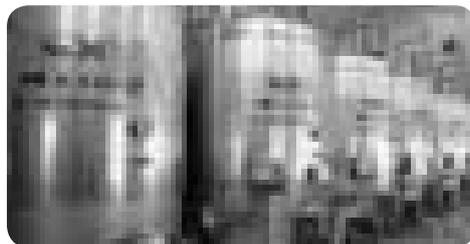
生活に直接関連する世羅町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例では、大字上津田の一部を新たに給水区域とし、利用可能な範囲を拡大する改正を行った。

また世羅町国民健康保険条例では、出産育児一時金を35万円から39万円に増額することとした。ただしこれは、国保加入者が、H23年3月31日までの間に出生された場合に限られる。

その他の議案

コミュニティ施設の白梅会館を、地元コミュニティ推進協議会へ無償で譲渡するため、世羅町コミュニティ施設設置及び管理に関する条例から削除する改正を行った。

農業関連では、農業施設の簡易な整備を行う予算を、第3回臨時会で可決している。これの実施にあたり、負担金を30%以内とすることと定めた。防災面では、消防ポンプ自動車の購入を決めた。



今年のワイン醸造中

補正予算

学校施設整備費など 災害復旧費など 1億6,

補正予算

一般会計では、学校施設の耐震診断結果と小学校統合を控えての施設整備を中心に、約8億円の増額補正（第4号）が9日に、7月豪雨災害の復旧事業費1億6千万円余の増額補正（第5号）が25日にそれぞれ提出された。

学校施設の整備に関して耐震強度不足について学校統合準備室長は「ただちに倒壊するというものではない。大地震では恐れがあるというもの。統合までに順次整備する」と答弁をにこした。一方閉校となる施設の利活用や設備について「事業執行の前提には財源の確保が必要である。」と具体的答弁をさけた。

7月豪雨災害に関して町民が安心して、安全に生活できるため、

早期に復旧することが望まれる。一方で今回は、国、県の制度が活用できるものだけと乗っている。制度に乗れない小規模の災害対応が求められる。これに対し、町道、町河川は維持予算で可能な限り対応するとしたものの、その他は財源的に困難との答弁にとどまった。また水路や農林道など地域財産の地元負担で、受益者の範囲、按分方法など、わかりやすい仕組みが問われた。

「それぞれの地域には地域の事情があるのは知っている。しかし、災害復旧の側面で、町は関与しにくい」旨の答弁だった。

中心部と周辺部、災害程度の大・小を問わず安心・安全を均衡に保障する仕組みが求められる。

人事

○人権擁護委員の任期が満了となるため次の二名を適任とした。

中住 薫 壮 氏（大字伊尾）
森 義 信 氏（大字安田）

○固定資産評価審査委員の任期が満了となるため次の方の選任に同意した。

本郷 啓子 氏（大字小国）



県内外からの車でいっぱい

平成20年度決算は付帯意見を添えて認定

審議は3日間で施策を徹底検証

論議の内容

Q 一般会計で、差し引き残高が3億4千万円ほど出ている、行財政改革に取り組んだ成果の現われと思うが、反面切り詰めすぎて住民は、福祉・暮らしに不満を感じる事となる。あまり大きな切り詰めをする「住みにくい町」と感じられる。そのような事のないよう、次年度予算を考えないといけない。

A この5年間はわが町を存続する目的で、財政健全化に努めてきた。したがっ

て、町民の皆さんには窮屈な思いをされた年だと感じている。

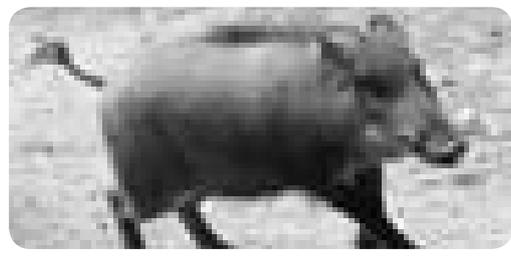
おかげで、財政健全化の見通しもついてきた。今後とも、住民の協力をいただきながら、節約効果を生かすよう財政健全化と合わせたスリムな体制を作っていく。

Q 滞納者に対する考えは。

A 滞納者には、納付方法の相談を行っている。それでも相談にも来ない、納付もない住民には、強制執行をとらざるをえないと考える。これ以上

納付率を下げないよう努力する。

Q 有害鳥獣の決算で300万円。イノシシの捕獲数で割ると1頭につき6万円弱。他の自治体の倍の費用がかかっている。



困ったやつじゃ

今後の有害鳥獣対策をどう考えるのか。

A H21年度においては拡充して取り組んでいる。捕獲状況はH20年度実績をクリアしている。次年度には、捕獲対策、保護対策も含め一体的に取り組む。

Q 松くい虫の防除、予防委託の状況は。

A 松くい虫は全体的に増えている状況で、H20年度には川尻、せらにし青少年旅行村付近を実施した。

NO	平成20年度 決算認定採決	賛成	反対
1	一般会計歳入歳出決算認定	12	2
2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	12	2
3	老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定	13	1
4	後期高齢者医療制度特別会計歳入歳出決算認定	12	2
5	介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	12	2
6	介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	14	0
7	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	14	0
8	上水道事業会計決算認定	14	0
9	簡易水道事業会計決算認定	14	0
10	公共下水道事業会計決算認定	11	3



充実した地域医療を望む

Q 三原広域市町村
圏事務組合から
3億円弱入っている。
事務組合の基金として
積んだものを廃止し配
分されたもので、基金
で行っていた事業は、
各自自治体で継続するこ
とになっていたが、ど
のように運用活用した
のか。

A ふるさと基金は
利息運用で各種

事業（広島公響楽団鑑賞・せら駅伝）を展開してきた。H20年度は三原市と負担金を出し実施した。今までやってきた部分は重点的に
行っている。

Q 公用車の台数、
購入に関するこ
と、事故弁償などが議
会に付される議案に上
がっていないが何故か。

A 現在の保有台数
は、自動車95台、
消防車7台、ポンプ積
載車43台である。物品
700万円以上の購入
でないと議会に付す
という必要がないので上
がっていない。

事故などは保険会社
から直接支払いをして
いる。

反対討論
だから、反対

●**矢山** 深刻な不況下
で国の景気対策が行わ
れている。今だに厳し
い状況が続いている。
H20年度では小学校統
合や重要な課題が議論
されたが多くの問題が
残っている。特に農業
については、国の方針
で大型化・法人化が進
められ家族経営が厳し
くなっていく中で、支
援が不十分である。農
業だけでなくいろんな
面で厳しい中、町が住
民の福祉・暮らしを
守っていくという立場
に立つことが必要であ

る。今まで言ってきた
ことに対して、改善が
見えないので決算に反
対する。

賛成討論
だから、賛成

●**徳光** 世界大不況の
中、地域経済の活力再
生と暮らしの安全安心
を求めるための対策と
して、基盤整備および
緊急雇用対策など補正
予算が執行された。

●**本町**も12月18日世羅
町地域経済雇用緊急対
策本部が設置され対策
が実施されているとこ
ろである。

●**町**の財政状況は地方
交付税50億円、町税約
20億円と伸びはなく、
一般財源充当は非常に
困難な状況にある。新
規事業が凍結されたな
かで中央病院の医師確
保と看護師の増、保育
所の再編整備・認定こ
ども園の整備などさま
ざまな意見はあるが実
現を果たしている。ま
た産業の振興に関して

は、農業法人
の4経営体が
うまれた。教
育に関して
は、確かな学
力向上が定着
し、道徳教育
を推進、思い
やりのある教
育指導がなさ
れている。

●**今後**も、住
民福祉の向
上、子ども・高
齢者・障害者
にやさしいま
ちづくりの推
進に期待して
賛成とする。

付帯意見

① 行政執行にあた
り、説明責任の不
十分な事案が見受けら
れたが、今後は十分
な説明責任を果たさ
れたい。

② 歳入において、不
納欠損額及び収入未
済額が増額傾向にあ

陳情・請願
4件全て採択

◎**農業用排水路の汚泥を処理
してほしい**
中原地区振興会
会長 実久 學
(賛成10 反対4)

◎**町道奈良ノ木中原線を舗装してほしい**
中原地区振興会
会長 実久 學
(賛成12 反対2)

◎**県の重要文化財保存修理に支
援してほしい**
総代会 代表 黒木 從雄
(賛成13 反対1)

◎**教育予算の拡充を求める意見
書を国に提出してほしい**
広島県教職員組合世羅地区支
区長 井藤とも子
(賛成14 反対0)

るが、税負担の公平
公正を図るため、さ
らなる努力をされた
い。

③ 決算審査の過程に
おいて指摘した事項
については、十分留
意し今後の行政執行
に反映されたい。
以上の付帯意見を付し
て、認定とした。

委員会は今

総務文教 常任委員会

現地調査

①陳情案件の現地視察として、広島県重要文化財の今高野山安楽院を視察。この建物はS38～39年に移築。鉄板葺で44年経過しており定期的な修繕はしているものの、傷みが激しく建物内部にまで漏水していると説明を受けた。

②保育行政の現状把握のため、おたとせらにしの2保育所を視察。おたせら保育所では新規の未満児保育がない。兄弟で同じ施設に入所させたいが、二人めが未満児の場合、他施設にあずける事になり問題が発生している」と説明を受けた。

事務調査

①統合準備段階における教育は

H23年度の統合に向けスムーズに統合できるように、教育の取り組みを調査。教育課程は、指導計画を作成し実施しているのスムーズに統合できる予定。これまで、各学校において特色ある学校づくりを推進してきた。この事は引き続き可能な限り地域の支援を得ながら継続していく。

統合予定の学校間では事前に友達づくりや、顔を知るための合同給食、ゲームなどの交流会が予定されている。

②不登校・いじめ防止は

不登校に関しては小・中学校あわせて数名いる。対策とし



今高野山安楽院（奥の建物）

て、スクールカウンセラーを交えた情報交換、生活機能訓練、個人面談、保護者との面談、高野塾との連携、教育相談など行っている。いじめに関しては現在のところない。

③今後の自治センターは自治センターの状況は、どの建物・備品も老朽化が激しい。対策として緊急経済対策費を活用して整備する。地域によって仕事量などに差異がある。今後、地域事情にあった取り組みを行い自治組織に移行していく方向である。

産業建設 常任委員会

現地調査

①要望案件の現地調査

中原地区の農業用排水路と町道奈良之木中原線の状況を確認。農業用排水路に関しては汚泥が50cmくらい堆積しており悪臭が発生している。水路幅も広く処理は重機でないと不可能な状態であった。基本的には地元で管理・処理する事が望ましいが、ここまで堆積すると大がかりな取り組みが必要である。初回のみ町で処理し、今後は地域でこまめに管理してもらおうと望むなどの意見が出された。

町道奈良之木中原線に関しては、まだ舗装がなされておらず、傷んでいる状況である。町道でもあり舗装すべきなどの意見が出た。

事務調査

①H21年度の入札発注

状況は

防草コンクリート工事に
おいて
ガード
フェンス
などの撤
去費用や
切土、盛
土の面積
が若干変
更したた
め、全工
事契約後
に金額を変更した。



中原農業排水路の汚泥

②入札の資格に関して
建設会社の事務所に
関しては営業状況を明
確に把握する事を申し
入れた。

③上水道加入状況は
山田川の取水施設は
完了し、現在対象地区
で説明会を開催してい
る。委員会として将来
の上水道プランを含め
しっかりと計画するよう
申し入れた。

④イノシシ対策は
年々被害金額が増加

の傾向にある。H21年度の捕獲実績は108頭で被害防止策として捕獲体制の充実、国の補助制度創設により、集落全体を囲む事業を進める。

⑤せらにし青少年旅行村は
現在、休村中でグラ
ウンド・ナイター照明
のみが使用できる。指
定管理者への問い合わせがあり現在協議中であるが、当面は直営で再開する方向である。
地元の意見、要望を十

分検討し期待に応える努力をするよう指摘した。

閉会中の委員会

事務調査

野積み発酵堆肥について

発酵堆肥の販売計画が業者より東部環境事務所に提出された。それによるとJAに1900t、中国に12000tを今後3年間で販売する計画である。

現在は被覆してあるが、シートの劣化などにより雨水が浸入し流出する可能性を指摘した。付近の環境を壊すことのないよう行政に監視・指導するよう求め、今後は委員会として、環境を守る条例制定にむけ研究する。

公共下水道事業調査特別委員会

今年4月に供用開始し、現在44件の接続となっており、引き続き説明会などを通して接

尾道松江線調査特別委員会

現地調査では、「工事は順調に進んでいるものの、用地買収に若干の問題がある」との説明を受けた。

H23年の部分開通を期待するが、国政状況

に不安が残る。しかしこの路線は世羅町の活性化・発展を大きく左右する事業であり、企業誘致をはじめ、有効な活用を調査、提案していく。



(仮) 甲山IC 付近から東上原地区を望む

続の促進を行っていく。

一方で計画から実施までに長い年月が経過しており、町並みや世

帯事情も変化している。流入量が見込める地域に事業を集中するなど、事業の見通しと迅速な対応を申し入れた。

議員発議

発議第4号

子どもたちへ最善の教育環境を提供するため、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書を提出する。

提出先 財務大臣 文部科学大臣

第3回臨時会

7月16日

低迷を続ける国内経済に、活性化対策が国・県で予算化された。世羅町は、これを積極的に活用し地域経済対策を進めるため、7億円余の補正予算を第3回臨時会に提出した。

手当交付金事業を拡充し、ふるさと雇用再生特別基金事業を追加実施するとしている。質疑の冒頭「すでに町広報で告知してある予算が、今審議されている」と質した。他にも数人が説明を求めた。産業観光課長は「緊急性からやむを得なかった」と理解を求めた。

予算の概要と論点

予算の主なもの、「安全で安心して暮らせる町づくり」のため、少子化対策、地域生活基盤整備などの経済対策となっている。また子育て応援特別

一方で副町長は「勇み足ととられてもしかない。議会とのルールに基づいた調整が必要」と改善を示唆した。南館のエレベータ設備では「バリアフリー

には必要」といった肯定論の一方で、「補助対象になるから」だけでは理解できないと主張。他にも「何故今なのか」「他に優先する根拠は」など質疑があった。これに対し総務課長は「キーワードは安全・安心のくらしの実現。利用しやすい施設とするためには必要で、補助金というチャンスの活用は効果的である」と理解を求めた。

記述の訂正

前号6ページ「みつば会」の文中「人件費部分として」は「人件費の一部として」に訂正します。

の課題

14人が質す



イノシシ被害の田んぼ



矢山 武議員

●**矢山** 河川・道路の被害や農地の災害が発生し、早期の復旧をは

かる必要がある。河川についての対応と災害の対象とならないものへの対応は。
 ■**町長** 町道14カ所、河川6カ所で査定を受け、本年度中に復旧したい。農災が31カ所、裏山

Q 災害の状況と復旧の取り組みは
A 今年度工事を進め小規模は支援を検討

崩壊が9カ所で、復旧を進め、20カ所の小規模災害は支援を検討する。

Q 不作への対応
 ・イノシシ被害対策を
A 国が考えるべき・集落ぐるみの防護柵に支援

●**矢山** 米価の値下がりと不作。そして、肥料の高騰で厳しさが増している。引き続き農

業で頑張れる対応を町として考えては。イノシシ被害が増大しているが、対策強化を。

■**町長** 集落法人により、業として成り立つ新たな作物の導入が必要である。

イノシシの被害が多発している。新たに防護柵の支援を行い防止策と捕獲対策を強化し、捕獲は昨年の2倍の100頭以上を見込む。

Q お年寄り・障害者支援の拡充を
A 障害者自立支援3%負担に

●**矢山** 弱者に厳しい町政を変えるべきで、これでは十分なサービスが受けられない。親の援助が必要な人や寝たきりの人の認定基準が厳しくなるのはおかしくないか。

■**町長** 障害者自立支援法で1割負担となっ

たが、3%程度の負担で、通院助成など行っている。
 後期高齢者は、保険料の9割軽減措置が実施され、被保険者の7割が対象。要介護認定は見直される。今後とも実情に即した施策の展開に努める。

大分県 町政

議員

一般質問



福田 豪議員

今回は、発生箇所が分散し、被害連絡が集まったため、一部で対応が不十分となった。

今回は、発生箇所が分散し、被害連絡が集まったため、一部で対応が不十分となった。

■町長 災害対応は、地域防災計画の定めにより、注意体制や警戒体制をとる。被害の拡大を最小限に抑えるため、状況把握と現場確認に努める。

●福田豪 7月の大雨災害を振り返り、危機管理は十分だったのか検証しておく必要がある。

A

意識と体制の強化を図る

Q

危機管理はどうなっている

この反省に立ち、より迅速な対応ができるよう危機管理意識を高め、体制強化を図る。

A

すべてに対応はできない

地域の活力を創造しよう

整備されるなら活用

●福田豪 小学校の統合が決定した。これにより閉校となる施設の活用に「子ども農山漁村交流プロジェクト」を導入してはどうか。

交流人口を増やすことで、地域を見つめ直し、新たな活力の創造につながるかと考える。

一つの提案として考えるつもりはないか。

■教育長 子どもたちの社会性の育成や適切な人間関係の構築方法



閉校後の活用が望まれる学校施設

の習得の場として、長期宿泊体験は国としても進めている。

閉校となる校舎を集団宿泊施設として整備されるなら、積極的に活用したい。

■町長 住民に情報提

供するなかで、自ら選んでもらいたい。地域の活性化につながるものは活かす。しかし、すべてをそうするわけにはいかない。シンプル・イズ・ベストもある。



どうなるおた保育所



安佐長秀議員

Q 行財政改革推進プランの改正は計画は前倒しで進んでいる

のか。管理体制が不備では。企業誘致も実現するの。

■町長 町民皆さんの

●安佐 政権交代でも町行政はゆるがないと言われるが、町民の視線でないように感じる。職員も適材適所である

Q 教職員の不祥事・当町では高い倫理観が求められ、あつてはならない

●安佐 不祥事の中に

ご理解とご協力、そして、職員の努力で健全財政体質へ進んでいる。借金が186億円程度まで減額したのも、協働の結果と捉えている。農外企業の進出も尾道松江線開通を視野に県と連携していく。

も、交通事故や保護者とのトラブルなど軽微な問題から、教育に支障を与えかねない事案があるのでは。

■教育長 県内では増加の傾向にある。懲戒処分にあたる事案は町内にはないが、不適切な行動について厳しい指導を今日まで4回行っている。「子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます」の県のメッセージを受け止め、服務規律の厳正確保に努める。

Q おた保育所の閉所に問題あり見直しを計画で定めている

●安佐 H18年の議会での発言では、一人でも通所者がいれば、閉所しないとの公約であった。閉所発言は保護者に対する軽視である。説明不足で、公正な行政執行と言えない。

■町長 H19年6月に世羅町保育所再編整備計画で、おた保育所を活用するとある。しかし、誘致した保育園が、町立と同様なニーズに対応できるなら見直す予定していた。H23年3月末日で、閉所する方針である。

も、交通事故や保護者とのトラブルなど軽微な問題から、教育に支障を与えかねない事案があるのでは。

Q コンビニで納税を三原市と検討する

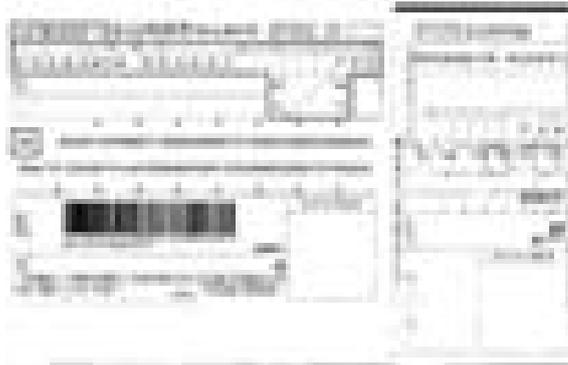


能登哲夫議員

●能登 町税などの納税方法を考えて拡充す

べきと思う。他の自治体ではコンビニエンスストアでの納税もあるようだが、今後の計画はどうか。

■町長 現在は指定金融機関での口座振替納付と、ゆうちょ銀行で



コンビニ納付書のイメージ図

の口座振替納付および郵便振替払いと、窓口で直接納付をお願いしている。

三原市との広域電算システムを共同利用しているが、H23年にシステム機器更新を検討しており、コンビニ納付の導入について検討していきたい。



早期改良が望まれる大田道線

Q 大田小統合校の周辺整備は
A 早期に駐車場と大田道線の
整備を検討したい



徳光義昭議員

●徳光 統合後の甲山小、中央小、大田小の増改築、用地整備など、計画案が示され現地調査をした。

特に、大田小統合には重大課題がある。
①大田小屋内運動場の用地選定は②大田小統合校に早期駐車場の整備を③町道大田道線の早期改良工事を④大田地区にスポーツ広場の整備を。
■教育長 ①5カ所の用地を検討した。主に現体育館を解体し建築する案は、約10ヵ月授

●西田 校庭の芝生化が全国的に広がっている。メリットは①子どもたちの遊び場になる②クッションとなり転



西田美喜男議員

Q 学校の校庭を芝生化に
A あらゆる角度から検討する

業ができない。また、他に代替え施設の利用も困難である。最適候補地は現校舎北の民有地を取得し建設する案だが、地権者の理解が必須条件である②学校周辺の公共用地では不足する。体育館建設地に併設すれば可能で、早期に用地交渉したい③大田道線は狭隘であり、統合後の通学バス路線、通学路として対策が必要と認識してい

●西田 校庭の芝生化が全国的に広がっている。メリットは①子どもたちの遊び場になる②クッションとなり転
●教育長 校庭の芝生

る。
H22年度からの新過疎法の事業計画、財政計画のなかで調整、検討したい④大田は人口も多く少年野球、サッカー、グラウンドゴルフなど13団体が利用調整している。合併前からグラウンドの要望があった。今後、財政状況や具体的計画を含め、町全体のことと捉え検討したい。

●西田 火野女井堰は世羅町賀茂と大和町境の一級河川、芦田川改良事業でH6年度に事

Q 火野女(ひのめ)井堰の早期改良を
A 変更説明会の開催をする

●西田 火野女井堰は世羅町賀茂と大和町境の一級河川、芦田川改良事業でH6年度に事

化は、子どもの身体や心だけでなく、地域環境にも良い効果を与え



芝生化の校庭（豊平南小学校）

●町長 河川改修予算が縮減され、H20年度末、事業進捗率は39・5%。H21年度は1千万円の予算で護岸整備が予定されている。井堰本体は、当初ゴム製の可動堰で計画されたが、操作性や経済性を考慮し、ポンプによる取水方法に変更を予定。現在、計画変更について、関係者に説明会の開催を代表者と協議中である。



各施設に設置

●中村 少子高齢化、過疎化が進む我が町の次なる挑戦、課題解決の切り札は都市部にある。北九州や関西方面の都市部へ事務所を開設して、職員を派遣し、現地での情報発信と営業活動を行う考えはな



中村幸雄議員

Q 都市に事務所開設を
A 費用対効果が望めない

■町長 現時点では財政的および費用対効果

の面から困難である。世羅町観光協会の法人化への移行を来年度には具体化し、専門の事業所、および商工会・観光協会・町内各種団体との連携・協力のもと取り組んでいく。

Q 新型コロナウイルスの対応は万全か
A 安全・安心に万全を期す

●中村 死亡例も報道されるなか、集団感染となると住民の生活に多大な影響が出ると思われる。

町の対応・対策は。

■町長 世羅町感染症連絡会議において、学校での集団感染予防対策の徹底、住民への感染防止の啓発の重要性、早期の体制整備について協議し、無線放送・ケーブルテレビ・ホームページなどによる情報提供に努める。また、町内関係機関による連絡会議を開催する。そして、各施設での感染防止対策の徹底、および適切な医療機関の受診について協議し連携強化を図る。



現在の名誉町民

Q インフルエンザに対する危機管理は
A 段階に応じて行動する



仲行 洋議員

危機管理対策本部の設置を受け、世羅町感染症連絡会議を設置し、情報収集、および感染防止策の協議を行ってきた。

●仲行 新型コロナウイルスエンザは静かに感染を拡大し、今後急速に増加することが懸念される。本町に於ける対策は万全か。行政内部と医療機関など外部との連携は万全か。

■町長 今春より、県こうしたなか、行動計画策定に着手し、感染拡大防止への体制整備を図った。今後、秋・冬の流行拡大や病原性の変化に対応可能な体制づくりに、医療機関との連絡会議など連携を図り、

Q 名誉町民の基準は
A 具体的な基準は条例で決めている

住民の安心安全に万全を期す。

●仲行 名誉町民の選定基準は。また、現在町内外で功績をつみ活躍されている方を、町民に知っていただくため、パネル展示などをしてはどうか。

■町長 推薦基準は①国・県・本町の行政に関し参画し功績があったもの②教育、学術、技術芸術の発展、産業文化の振興または社会の進歩に偉大な貢献をした者③私財を投じて公共施設を設け、公共の福祉の増進。または社会公益上顕著な功績があった者である。現在活躍している方は、表示するかは別として、候補者名簿は整理する必要がある。

Q イノシシの被害を最小限に

A 提案を尊重する

●福田義 全町でイノシシの被害が増えている。対策は。

①最近のイノシシの駆除状況 ②イノシシによる被害状況 ③狩猟免許の取得状況は。

他の自治体では免許取得補助・くくり罠などで効果を上げている。検討してはどうか。

■町長 ①今年の7月までの捕獲頭数は69頭 ②被害総額1697万円 ③免許取得者100名前後。

集落ぐるみ被害防護柵の設置など支援する。捕獲対策の強化を



福田義人議員



くくり罠

Q より細かな保育サービスの充実を

A 福田義

世羅町の中心地にある幼・保育園は民営化されている。

今後民営化が進めば中心部の保護者は公立保育所入所の選択余地がなくなる。

保育の今後を問う。

■町長 入所児童の減少により「5保育所1分園」でスタート。入所基準により入所に対応している。

子育て支援アンケートを実施し細やかな保育サービスに努める。

Q 新たな医療の確保について

A 福田義

4月から世羅中央病院の医師が拡充され、患者が増加し経営改善がされているが、全国的には医師不足。地域の医療福祉を守って行くには、地域医療を育む意識が必要と思うが。

■町長 急激な医師不足が生じ、今も医療現場は厳しいが、3名の医師が充足。少子高齢化に対応して受診マニユアル作成など、地域に密着した体制作りを努める。

Q 世羅とくたく商品券に工夫を

A 2回目の発行は注意する



岡田武士議員

●岡田 前回発行の商品券は、一部町民の利用に終わったのではないかと。沢山の人が利用できるようにすべきだ。

何十枚も家族で購入されたら聞き、もっと全体に行き渡る工夫が必要だ。

Q 小学校統合の準備は

A 岡田

統合により山積みの施設整備であるが、起債など沢山の借金の建設であると思う。今後の財政には考慮すべき点が多いと思うが。

■教育長 本年6月定例議会において関係条例の可決をいた

活用し、商工会が事業主体で取り組んだ。住民の関心を引き、喜ばれ商店の売り上げがアップした。

次回の発行は、成果と課題を整理し、9月27日から一週間は町内の方を対象に、10月5日からは町外の方に販売する。

だき、H23年4月の統合に向けて諸準備を進めている。財源については、交付税措置の高い有利な起債（過疎債・学校教育施設等整備事業債）であるので、町財政への影響は少ないと考えている。

Q 旧役場跡民地の裁判費用は訴訟費に含まれない

A 岡田

H21年5月28日に民地の所有者の勝訴という判決が出たが訴訟費用は被告が負担するとあり、町としての対応は。

■町長 訴訟費用はすべての費用を含むわけではなく、収入印紙や郵便料などは該当するが、弁護士費用は訴訟費用に含まれない。

申し立てにより裁判所が費用負担額を決定し、請求があった場合は、負担する必要があると考えている。

売上げがアップ

Q どうなった防犯灯管理

A H23年までには対応する



松本秀治議員

●松本 防犯灯の管理に関しては合併して今なお、旧甲山は地元管理、世羅・世羅西は町の管理で、統一されていない。平等性という観点から早期の改善を望むが、執行者としての考えを伺う。

■町長 合併前の取り組みの違いから、現段階においても、明確な対応の方向性を出していない。現在、防犯灯を町が設置したものと、地域が設置したものの設置数・設置場所を調査している。特定の地区の防犯灯という位置づけでなく、地域全体のものであるという観点から、地域全体で考えていただき、管理方法・設置



地域管理の防犯灯

場所を自治組織や防犯組合組織で論議していただきたい。

Q 解体費の積み立ては公共施設整備基金の積み増しで対応

●松本 当町に限らず

公共建築物が多く存在する。建築物には耐用年数があり当然、解体という問題が発生し多額の費用が必要になる。

長期を見すえ、発生するであろう解体費用の積み立てを提案する。

■町長 利活用が望めない老朽化した建築物の解体費用に関しては一件当たり数千万かかる。複数となると単年度での実施は財政上困難で、数年かけて計画的に実施する必要がありと考える。財源は現在ある公共施設整備基金の活用が可能であるので積み増しを検討する。

Q 野積み肥料・産廃物の安全は屋内保管を求めている



豊田 勲議員

●豊田 野積み肥料への6月以後、町の指導と企業の対応は。新たに野積みをする

には町へ届け出と、地元住民の同意を得るよう条例の改正を。

■町長 UVカットシートは2年で劣化する。業者に公害防止報告を求めているが、野積みすると廃棄物になる恐れもあり屋内保管を求めている。



被覆された野積み肥料

条例改正は、関係法令とのバランスを考え検討したい。

料で減額・免除するものの収入は低い。町内で無料か低額で受診できるよう検討を。

Q 生活困難者に無料低額診療事業導入を中央病院に導入は困難、受診相談と生活相談は支援

●豊田 生計困難者が

増加しており、国保税と後期高齢者医療保険

■町長 事業の意義は大きいですが、世羅中央病院には認定条件や、病院経営に影響を及ぼし導入は難しいと思う。生活困難者の受診や生活上の相談など、医療機関との連携により生活支援に応じる。

Q

休園中の旅行村の行方は

早期再開を目指し努力する



仙光保喜議員

人たちは、一日も早い開園を待ち望んでいる。

6月の時点では、「直営、指定管理、譲渡、閉鎖の検討、あるいは地元管理は可能かどうかなどの選択肢を洗い出し、できるだけ早く方針を決定するよう協議を行っている」と答弁された。

現状では、選択肢4つの中の事実上閉鎖状態にあり、



どうする本格再開

この状態も今年度中だけで、いずれかの結論を出さなければいけない。今がその時期で早い方針決定をして、次の段階への対応が必要

と思う。

進捗状況と今後の方針を伺う。

■町長 せらにし青少年旅行村は、青少年の健やかな成長を願って建設された。長年にわたり地域活性化の拠点として、地域の皆様に親しまれ、支援を頂いている施設である。

現在、町は早期再開を目指し、地元地域に対して管理運営の可能性について検討を願っ

ている。今後、このこ

とが困難な場合には、これまで現地踏査や説明を求めている複数の会社を含め、新たな指定管理者を公募する。一方、管理者が決定する当分の間については町の直営で再開していきたいと考えている。

本来の目的にそって将来にむけて、持続可能な経営のあり方を求めて一生懸命努力していく。

Q

特別支援教育の体制整備は

適正な就学指導に努める



永田英則議員

通学対策⑤放課後児童クラブに障害児の受け入れは可能か。

■教育長 ①児童に適正な就学指導に努めた②特別な配慮のもとに編成された学級であり、通常学級での学習ベースで考える③特別支援教育を柱として重度障害者教育の実現に

努力する④通学バスの乗車困難な児童生徒は原則保護者で送迎⑤児童の受入れ可能。

Q

選挙投票区の見直しは

基準を定め説明

●永田 投票所を大幅に削減されるが次のことを伺う①投票所削減の根拠と説明は②高齢者、障害者の交通手段確保③電子投票導入の研究を④投票所に手話通訳の派遣を

■町長 ①町全体の均衡を図り、見直し基準を定め、説明は町広報やケーブルテレビ、ホームページでしている②駐車場の確保やバリアフリーを考慮。施設も変更。巡回バスを運行して投票率の低下を招かない努力をしている③現段階では考えていない④体制整備は要望があれば、選挙管理委員会でも検討される。

Q

県営事業の負担金は条例で定め

A

●永田 国・県公事業負担金条例により求められていることについて①使途明細のない支出はないか②請求内容を調査せずに支払いをしていないか③公事業負担とは。■町長 ①明細提示はないが、事業費内訳は伺っている②詳細な調査は行っていない③地方財政法に基づき、県事業負担金条例で定め



特別支援学級

元気な人
紹介

子どもたちに誇れる世羅を残してやりたい



世羅高原農場 新たな挑戦

世羅町別荘 世羅高原農場 吉宗五十鈴さん

「ワーすごい」と福山から来られた団体さん。高台からダリア園を見

た第一声。10月はダリアの最盛期。

吉宗誠也さんととは大学の同級生。五十鈴さんは志望して入った東京の雑誌社勤務を経て、7年後の04年に結婚し当地に移住。しかし、初めて来た夜の道は行けども山の中、涙が出そうでしたと振り返る。現在では、反田地区で19年ぶり生まれた一男の母。大切にしてもらっていると話す。

農園での五十鈴さんは、結婚して2年目までは、雑誌社など以前の生活に未練があった。この仕事に居場所が出来たのは、その後のことでしたと話され、新たな事業に挑戦中です。

- ①世羅の食材を集めた「お花見御前」
- ②バーベキューハウスを花カフェに店舗替え
- ③フラワーアレンジ教室開催

また、今秋の連休には、ダリアの花約3千個を使ったインフィオラータ（花絵写真）に挑戦、大好評を博した。「来年はチューリップを植え付けの時から花絵に配置して植付します」と張切っておられる。

「苦労話って??少しあります」経験豊かな農家の人を説得するには、エネルギーが必要ですが、最近、押し花



行政に要望はと訪ねると、広島市など市の公共施設に世羅のパフレットをと、独自に持参しても相手にされない。行政であれば可能なことも。そんな後押しをお願いしたいとのこと。最後に「今は、どこの農園も大変な時期ですが、この努力が役立つ、この地の豊かな美しい自然を子どもたちに残し、誇れる世羅を作りたいと思います」と結ばれた。(福田義人)



編集後記

議会の定例会は4回となぜ決まっている? 先般「ローカルマニフェスト推進フォーラム」での講師、北川正恭氏の問題がきっかけです。賢い人といわれるほど固定観念に縛られているのではとのこと。

政権交代で国も変わろうとしていますが、『あれもこれも』の時代から、財源確保を含めて『あれかこれか』を今後の政策として提唱するべきです。もちろん、検証し住民に情報公開していただける町への転換に努力していかなくてはならないと思えます。(奥田)

議会広報公聴 調査特別委員会	委員長/福田 義人
	副委員長/松本 秀治
	委員/西田美喜男・安佐 長秀 福田 豪・奥田 正和

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は12月です
日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。